

環境・安全シンポジウム 2009
環境安全に配慮できる人材の育成
—大学における教育の現状と方向性—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

日 時 平成 21 年 3 月 29 日 (日) 13 時 30 分～17 時

会 場 日本化学会第 89 春季年会 (2009) 日本大学船橋キャンパス

S7 会場 (14 号館 1432 号室) *当初の 1422 号室から変更になりました

<http://www.chemistry.or.jp/nenkai/89haru/1-1.html>

趣 旨 大学は研究教育機関として、新規の実験研究が抱えるリスク、環境安全の確保、コンプライアンス等を考慮したうえで、合理的でバランスのとれた安全管理と教育手法の確立が重要かつ喫緊の課題となっている。また、社会へ向けての人材輩出といった役割を考えると、学生の環境安全に対する意識や感性を着実に醸成し、合理的な環境安全配慮姿勢およびリスク削減の考え方を身につけさせるための教育プログラムが必要である。本シンポジウムでは、大学実験室におけるいくつかの具体例をとりあげ、その問題点の抽出と解決策の提案を行うとともに、新しい管理手法や教育プログラムのあり方を考える。

内 容

13:30-13:45 開会挨拶 (環境・安全推進委員会 委員長) 山辺 正顕

13:45-14:15 大学における事故事例とその活用

(東京大学大学院新領域創成科学研究科) 大島 義人

14:15-14:45 局所排気装置の適切な運転と合理的な管理

((株)ダルトン) 春原 伸次

14:55-15:25 安全講習のあり方と体験的学習の有効性

(大阪大学安全管理部) 山本 仁

15:25-15:55 企業が求める大学の安全教育

(日立化成工業 (株) CSR 室) 藤井 義勝・下田修一郎

16:00-17:00 パネルディスカッション—アンケート結果の解析をもとに

(総合司会：事業小委員会 委員長) 大島 義人

参加費 無料。講演資料代：1,000 円 (当日徴収)。

定 員 100 名

参加申込方法 「3/29 環境・安全シンポジウム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail を明記のうえ、e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。なお、当日は 13 時から受付を行います。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会企画部 担当：松原・保倉
電話 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail: matsubara@chemistry.or.jp